

令和
5 年度

栃木市民大学

受講生募集

本学での学習を通じ、受講生同士の交流・仲間づくりの機会としていただくとともに、地域での活動やまちづくりなど、様々な場面で学習した成果を活用していただくため、“栃木市民大学”を開講いたします。

【受講対象】 栃木市在住・在勤・在学の方

【会場/日時】 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）（栃木市旭町 12-16）
各回の日時につきましては、裏面をご覧ください。

【受講料】 2,000 円（全 12 回）

※受講料はお申込後～初回講座《7 月 4 日（火）》までの間に

生涯学習課窓口にてお支払いください。初回講座当日に会場にてお支払いも可能です。

※栃木市勤労者福祉サービスセンター（ウェルワークとちぎ）の会員及び登録家族の方は、
受講料の助成があります。

【申込期間】 6 月 1 日（木）8：30～14 日（水）17：00

【申込方法】 右記の QR コードより電子申請にてお申し込みください。

【問 合 先】 栃木市教育委員会事務局 生涯学習課 0282-21-2491

**定員
200 名**



【申込用 QR コード】

令和 5 年度からは、新たに「実践コース」として、本市の地域課題の解決に向けて、ワークショップや体験活動等をとおして学習する講座を 2 コース（子育て応援コース・多文化共生コース）開設します。各コースは連続 5 回の講座（無料）で、地域活動やまちづくりに参加したり、困っている人をゆるやかに手助けしたりすることを学ぶ講座です。

従来の講座とともに、今年度スタートの「実践コース」の申込みもお待ちしています。

※詳細は右記 QR コードよりご確認ください。





第1回	栃木市の地形と水 《7月4日(火)》14時～15時30分 栃木市は巴波川や渡良瀬遊水地に象徴されるように、「川や水」の恵みの中で発展してきました。一方で近年の水害により、あらためて水の恐ろしさも体験しました。本講座では、私たちの生活と切り離せない水とのかかわりを、川のつくりだす地形の面から考えていきたいと思います。 栃木高等学校 教諭 阿部 治 氏
第2回	人工知能やロボットの仕組みと社会展開 《7月11日(火)》14時～15時30分 人工知能がこれまでどのように進歩してきたのか。いろいろな解説がなされていますが、コンピュータやロボットからの視点で、どのような進歩があって現在に至っているのかを紹介したいと思います。もちろん、ChatGPTの仕組みとその活用についても解説したいと思います。 宇都宮大学 教授 尾崎 功一 氏
第3回	徳川家康の半生と下野国 《8月3日(木)》14時～15時30分 江戸幕府を開いた徳川家康は栃木県にゆかりのある人物です。関ヶ原の戦いの2ヶ月前には、彼は小山にいました。日光東照宮は、徳川家康を祀った神社です。本講座では、彼の人生の中でも、栃木県と関連のあるできごとについて話します。 國學院大學栃木短期大学日本文化学科 教授 坂本 達彦 氏
第4回	小津久足が見た江戸時代の下野国 《8月10日(木)》14時～15時30分 伊勢商人の小津久足は、天保11年に江戸から陸奥国松島まで旅をします。後日、彼はその時に見聞したことを紀行文「陸奥日記」にまとめました。本講座では、彼が帰路に下野国を通過した際に、何を見て何を感じたのか、彼の紀行文から探ります。 國學院大學栃木短期大学日本文化学科 教授 坂本 達彦 氏
第5回	栃木市周辺の人間の歴史と植物の変遷 《8月22日(火)》14時～15時30分 日本列島には1万5千年程前に縄文人がやってきました。その後で弥生人が渡来して稲作を始めると、人間と自然の間わりも変化していきました。栃木市周辺も人間活動によって、その本来の植生が変化しており、こうした人間の歴史と植生との関係について紹介したいと思います。 東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園 准教授 舘野 正樹 氏
第6回	【公開】認知症市民特別講座 《9月23日(土)》午後 認知症についての特別講座を行います。詳細は決定次第受講者の皆様へ通知いたします。
第7回	日光の歴史を探る 《10月13日(金)》14時～15時30分 関東北部山間にありながら、時の権力・権威中枢との関係を有しながら、1250年余の多彩な歴史の“日光”。でも、そもそも何故に“山内”の地か？元和期・寛永期造営で“聖地”化は完成したか？地形図記載の大谷川の二つの滝名は妥当か？“位置＝場所”を手掛かりに歴史の一断面を探ります。 元県立高校教諭 國學院大學栃木短期大学 講師 岸野 稔 氏
第8回	渡良瀬川、巴波川流域の歴史を探る 《11月7日(火)》14時～15時30分 現在、巴波川は渡良瀬遊水地内で渡良瀬川と合流していますが、これは近世、近代の河川改修事業によりつくられたものです。国境河川であった渡良瀬川についてはその流れの変遷を、また巴波川は整備前と整備後の変化について、紹介をします。 元県土木河川課長 飯村 広寿 氏
第9回	蔵の街とちぎのまちづくり～嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区～《11月30日(木)》14時～15時30分 栃木市は蔵の街としてのまちづくりを進めており、栃木県で唯一の嘉右衛門町伝建地区があります。江戸末期から残る見世蔵や土蔵など、豊富な歴史的な資源を生かしたまちづくりについて考えてみませんか。 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会会長 河東 義之 氏
第10回	知ってる？カーボンニュートラル 《12月5日(火)》14時～15時30分 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、一人ひとりのライフスタイルの転換が大切です。本講座では、地球温暖化のしくみや脱炭素化による豊かな暮らし創りへの取組を紹介します。 栃木県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 石濱 辰郎 氏
第11回	【公開】人権を考える市民の集い2023 《12月9日(土)》 人権についての特別講座を行います。詳細は決定次第受講者の皆様へ通知いたします。
第12回	縄文時代のエコ事情-関東と東北の文化の型の違い 《1月23日(火)》14時～15時30分 縄文遺跡前期後葉(約5,000年前)、東北地方の三内丸山遺跡では大量消費する型の文化が営まれた。しかし同じ頃、関東地方の中野谷松原遺跡ではモノを大切に長く使用する型の文化が営まれた。そこで両者の文化の型の違いを比較します。 國學院大學栃木短期大学日本文化学科 准教授 大工原 豊 氏